

# 令和6年度 教育総務課重点目標

## 1 教育環境の充実

- (1) 令和4年度から、一芸に秀でる教育として、学業だけでなく、スポーツ、文化芸術及び海外留学まで対象を拡充した<sup>おおむら</sup>∞MURAミライ<sup>の</sup>奨学金（給付型奨学金）について、引き続き周知を行い、定着を図る。
- (2) 貸与型奨学金について、令和5年度から主に高校生への貸与月額を選択制にするとともに、返還方法を多様化したことから、引き続き周知を行い、定着を図る。
- (3) 令和4年度から開始した、大村市奨学金を返還する奨学生が、大村市における在住期間など、一定の条件を満たした場合に補助する大村市奨学金返還定住支援補助金について、引き続き周知を行い、定着を図る。
- (4) 市内全小中学校の屋内運動場及び中学校の武道場の出入口付近に電子錠付きキーボックスを設置し、施設利用者と教職員とで行っている鍵の受け渡しをなくすことで、利用者の利便性向上と教職員の負担軽減を行う。
- (5) 大村市の教育振興に関する施策を計画的に推進するため、第四期（令和7年度～11年度）大村市教育振興基本計画を策定する。

## 2 学校給食の充実

- (1) 学校給食向上推進委員会の開催などを通じ、安全・安心で魅力あるおいしい給食の提供について研究する。
- (2) 給食費の滞納対策を推進し、滞納額の縮減を図る。
- (3) 学校給食における食物アレルギーの対応方法等について随時検証し、食物アレルギー事故の防止と発生時の対応体制を整える。

## 3 教育環境の整備

- (1) 「大村市学校施設長寿命化計画」に基づき、校舎及び体育館の建替え、長寿命化改良工事等を実施する。  
また、令和7年度以降に予定されている工事の設計業務等にも着手する。
- (2) 学校施設の定期的な点検を実施し、安全・安心な教育環境の確保に努める。
- (3) バリアフリー法の改正に伴い、小・中学校施設のバリアフリー化改修を、令和4年度から令和7年度までの4か年で計画的に行う。
- (4) 安全・安心な教育環境を確保するため、令和6年度から市内全小中学校の敷地内に、防犯カメラを設置する。